様式2 管理運営状況評価書 【対象年度: 平成24年度】 (1)歴史·文化施設)

1 施設概要•利用情報 (単位:人、%、円、日)

番号	<u>1</u>	15	施設名	遠州南	部とうもんの里 総	とうもんの里 総合案内所 担当課名 農林課					
区分				内容・説明							
	(1)設	(1)設置条例名			遠州南部とうもんの里総合案内所条例						
	(2)施設設置目的				遠州南部地域の農村文化及び観光資源の総合的な情報提供並びに地域の活性化を図るため。						
	(3)施設が有する設備、機能の概要			幾能の	総合案内コーナー、研修室、加工体験室(調理室)、特産物展示スペース						
1	(4)施設建設年度				平成18年度						
施	(5)耐	(5)耐震性能の有無			有						
_記 設 及		(6)将来予想される改修経費			外壁・展望台塗り	替え(年度未定)					
び											
定	(想	(想定年度と費用見込み)									
指定管理者											
	(7)指定管理者名				NPO法人 とうもんの会						
	(8)指定期間				平成24年4月1日 から 平成29年3月31日 まで						
	(9)施設の管理運営形態				①指定管理料のみによる運営						
	(10)自主事業の有無				☑ 実施あり □ 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況を3ー(3)欄に記入のこと。			に記入のこと。			
	(11)指定事業の有無				□ 実施あり □ 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況を3ー(3)欄に記入のこと。						
		(12)事業報告書提出の有無			✓ 提出あり(地	自法第244条の2第7項による	る提出義務) □ 提出なし				
	(13)利用者満足度調査等実施				☑ 実施あり		※実施ありの場合、(直近の	実施年度 平成	t 25 年度)		

区分				H22実績	H23実績	H24実績	H25当初	備考
	(1)抗	施設利用者数		84,438	88,193	86,640		
		活動体験者		2,151	3,188	1,188		
		講座受講者		479	848	762		
	施設	団体活動参加	10者	2,738	3,839	3,003		
		視察者		72	115	225		
	施設・設備ごと	登録出荷者		232	250	267		
	ے	レジ客(出荷:	者含む)	51,089	55,513	54,770		
		案内・ロビー及びイ	ベント広場利用者等	27,677	24,440	26,425		
2	(2)和	家働率(利用率	<u>率</u>)					↓備考欄に算定式を記入してください↓
利		研修室	A平日昼間					各種講座開催数:50回、参加者数:762人
用状況			B平日夜間					
況			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
	(施設・		A平日昼間					
			B平日夜間					
	設備ごと		C土日祝昼間					
	ځ		D土日祝夜間					
			A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					

			A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
2	施設		A平日昼間					
利	·		B平日夜間					
利用状況	設備ご		C土日祝昼間					
況	(لا ز		D土日祝夜間					
			A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
		区分		H22実績	H23実績	H24実績	H25当初	備考
3	(1)‡	指定管理者	名	_	_	_	_	※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入
管 理	(2)禾	利用者一人当	またりの運営経費	63	59	59		
-	(3)	軍営日数		314	319	331		
運営状況	(4);	軍営人員	①正規職員	0.0	0.0	0.0		※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管
況	(4/)	エロハ只	②臨時職員	9.0	9.0	9.0		理施設で働いている実人数を記入してください。

2 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
①人件費	4,549,178	4,472,040	4,516,200	4,456,000	
②印刷費	320,801	390,262	239,409	288,000	
③通信費	410,665	305,701	322,670	339,000	

	④事務用品、旅費、図書費など	0	0	0	0	
 (1)運営コスト(A)	⑤借上料	0	0	0	0	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	0	0	0	0	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	0	0	0	0	
	計	5,280,644	5,168,003	5,078,279	5,083,000	
			Δ 2.1	Δ 1.7	0.1	
	区分	H22決算額	H23決算額	 H24決算額	H25当初予算額	
	①管理委託費(外注費)	1,306,681	1,359,465	1,379,125	1,392,000	
	清掃業務					
		437,155	448,804	468,477	451,000	
	公園樹木管理 ————————————————————————————————————	211,676	250,031	223,348	231,000	
(2)施設コスト(B)	浄化槽管理業務	190,810	196,110	222,360	250,000	
(2)/地設コペド(ロ)	防火設備保守事業	61,950	59,430	59,850	60,000	
	防犯警備事業	163,800	163,800	163,800	160,000	
	POS管理保守事業	241,290	241,290	241,290	240,000	
	区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
	②修繕費	136,500	37,170	116,505	200,000	
	③光熱水費	1,298,680	1,322,218	1,301,816	1,302,000	
	④燃料費	0	0	0	0	
(0)+ / /=	⑤清掃費	0	0	0	0	
(2)施設コスト(B)	⑥保守点検費	0	0	0	0	
	⑦その他(施設消耗品)	482,495	532,144	294,275	193,000	
	計	3,224,356	3,250,997	3,091,721	3,087,000	
	対前年度増減率		0.8	△ 4.9	△ 0.2	

(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)	8,505,000	8,419,000	8,170,000	8,170,000	
(4)合計のうち運営コストの割合	62.1	61.4	62.2	62.2	
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する	27,240	35,120	24,120		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合	0.5	0.7	0.5		

3 収支差額の状況 注)【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 施設使用料収入	27,240	35,120	24,120	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	8,505,000	8,419,000	8,170,000	
収支差額 a) -b)	△ 8,477,760	△ 8,383,880	△ 8,145,880	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 施設利用料金収入	0	0	0	※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(aートータルコスト)	0	0	0	
c) bに対する市の支出額(指定管理料)	0	0	0	

(3指定事業及び)自主事業の状況

(単位:円)

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 指定事業の収入	0	0	0	
b) 指定事業の支出	0	0	0	
収支差額 a)-b)	0	0	0	
c) 自主事業の収入	9,718,978	11,108,971	10,875,940	
d) 自主事業の支出	8,773,949	10,086,606	10,677,362	
収支差額 c)-d)	945,029	1,022,365	198,578	

4 施設管理所管課(市担当者)としての見解と改善提案

検討項目	現状分析と課題	左記課題を解決するための改善提案(いつから、誰が、何を、どうする)				
(1) 施設の収支差額の改善について	清掃、衛生管理について、施設全体に管理が行き届いている。また、施設等の修繕についても、指定管理者が気づいた箇所は自ら対応をしている。県、市等の事業と	・年度末には費用項目全ての見直し及び経費削減できる項目について検討する。 ・使用できる補助金等は、できるだけ活用し、有効活用に努める。 ・事業の効果や分析を行い、施設が担う目的や意義を今一度見つめ直し、利用者のニース・に即した事業展開を行い、地域の発展に寄与する施設に努める。				
【行革推進係から】 いくら公の施設とはいえ、毎年巨額の収支差額 を生じ、不足分を市民の税金で賄うことが果た して適正な経営といえるのでしょうか? 知恵と工夫により、少しでも収支バランスを改 善することを念頭に、類似施設の統廃合も含 めて、施設運営のあり方を考えましょう。	の連携を図り、内容の充実と経費の削減を 行っている。	・特産物展示スペースの朝採り市利用分の電気料及びガス代については、自主事業からの支出とし、管理運営費を削減する。				
(2) 利用者数の増加について	地域の農村文化の伝承や情報発信及び 地産地消の推進に貢献しており、今後更な る発展が期待できる。利用者数は増加傾 向にあり25年度末には、来館者50万人を	・引き続き活動体験など各種事業については新メニューの拡充をし、利用者の増加を図る。 ・活動体験など各種事業の開催については、ニーズにあった事業展開を引き続き心がける。 ・情報発信及びPRを強化、広い範囲からの利用者増加に努める。また、リピーターを増や				
【行革推進係から】 一部の人しか使わない割りに、毎年たくさんの 指定管理料が支払われていませんか? より多くの利用者を獲得するために、市として どんな事業展開を考えますか?	達成する見込みである。平成24年度の内閣総理大臣賞受賞後、更に視察者が増加している。	し、口コミなどでも来館者を増やす。				
(3) 利用者の満足度向上について	管理人の研修、自己研鑽に努め、より良い対応で顧客満足度を高めている。施設利用者に対してアンケート調査(H24は約200	・アンケート内容を確認し、スタッフ会議時に公表を行う。改善点は全員で議論し、好感度の維持と更なるレベルアップを図る。 ・ニーズを考え、とうもんでしか体験できない事業や商品を開発、事業内容の充実と集客に				
【行革推進係から】 市の政策目的の達成に見合う事業が行われているでしょうか? 毎年決まった事業内容やイベント等でなく、利 用者の関心を引きつけ、魅力ある施設運営を めざしましょう。	人)を実施している。また、お客様BOXの意見については、クレーム台帳を作成し、スタッフが常時確認している。	努める。 ・農産物の品質、品揃え、また来店者の購入意欲等、天候に左右されやすい施設である が、地場農産物の販売をとおし、「安心」・「安全」のPRとともに積極的な観光宣伝につとめ る。消費者、参加者のニーズに沿った農産物・サービスの提供をし、引き続き信頼される施設となるよう努める。				

5 その他自由意見